

- 高校卒業後の進路を考えたとき、経済的な環境を心配せずに進学できるように、国をはじめとした各種支援制度の概要を紹介しています
- 保護者の方と一緒にどんな制度があるか調べてみましょう
- わからないことが進路指導担当の先生に聞いてみましょう

進学にはどのくらいお金がかかるの？

- 大学等に進学すると、**入学金**や**学費**、**生活費**がかかります。
- 「**学費**」には・・・
授業料、学校納付金、課外活動費、通学費などがあります。
- 「**生活費**」には・・・
食費、住居・光熱費、保健衛生費、娯楽・嗜好費などがあります。
※ 学校や学部によって金額が変わります。

学生生活費（年額）大学の場合

		自 宅		学 寮		下宿・アパート その他	
学校種	区分	学費	生活費	学費	生活費	学費	生活費
大学	国立	約66万円	約43万円	約47万円	約82万円	約58万円	約110万円
	公立	約61万円	約38万円	約59万円	約80万円	約56万円	約102万円
	私立	約131万円	約43万円	約112万円	約84万円	約134万円	約107万円

出典：「令和4年度学生生活調査」（日本学生支援機構）

高等教育の修学支援制度

- 授業料・入学金が免除または減額されるほか、学生生活に必要な生活費等をカバーする給付型奨学金（原則返済不要）が支給されます。
 - 住民税非課税世帯とそれに準ずる世帯、私立学校の理工農系の中間層の学生に加え、令和7年度から、所得制限なく多子世帯（扶養する子が3人以上の世帯）が対象です。
 - 支援を受けるためには、
 - ・世帯収入や資産の要件を満たしていること。
 - ・進学先で学ぶ意欲があることの要件を満たす必要があります。
 - 進学を希望する大学や専門学校が制度の対象になっている必要があります。
 - 高校を通じて申請します。高校ごとの推薦枠や人数制限はありません。
詳しくは、文部科学省のホームページで確認してみましょう。
- ✓ <https://www.mext.go.jp/kyufu/>



支給額（年額）			授業料等減免		給付型奨学金	
学校種	区分		入学金	授業料	自宅生	自宅外生
大学	住民税 非課税世帯	国公立	約28万円	約54万円	約35万円	約80万円
		私立	26万円	70万円	約46万円	約91万円
	多子世帯	国公立	約28万円	約54万円	約9万円	約20万円
		私立	26万円	70万円	約12万円	約23万円
短期大学	住民税 非課税世帯	国公立	約17万円	39万円	約35万円	約80万円
		私立	25万円	62万円	約46万円	約91万円
	多子世帯	国公立	約17万円	39万円	約9万円	約20万円
		私立	25万円	62万円	約12万円	約23万円
高等専門 学校	住民税 非課税世帯	国公立	約8万円	約23万円	21万円	約41万円
		私立	13万円	70万円	約32万円	約52万円
	多子世帯	国公立	約8万円	約23万円	約5万円	約10万円
		私立	13万円	70万円	約8万円	約13万円
専門学校	住民税 非課税世帯	国公立	約7万円	約17万円	約35万円	約80万円
		私立	16万円	59万円	約46万円	約91万円
	多子世帯	国公立	約7万円	約17万円	約9万円	約20万円
		私立	16万円	59万円	約12万円	約23万円

※私立学校の理工農系の中間層の学生には、一定の割合で授業料等が減免されます。

スケジュール

➤ 高校3年生の春頃に高校で申込みをします。

➤ 支援の対象として認められた人には日本学生支援機構（JASSO）から10月下旬に通知が届きます。
進学先が未定でも奨学金の予約申込ができます。
※進学後の春頃または秋頃に進学先の学校で申込みすることもできます。

日本学生支援機構の貸与型奨学金

- 自分で借りて、卒業後に自分で返していく奨学金です。
- 無利子の**第一種**奨学金と有利子の**第二種**奨学金があります。
- 「修学支援制度」よりも幅広い所得の世帯の方が対象になります。
- 「入学時特別増額」として、入学時にまとまった額（10万円～50万円）の貸与を申請することもできます。
- ✓ 詳しくは、日本学生支援機構のホームページで確認してみましょう。
<https://www.jasso.go.jp/index.html>



貸与額（月額）		第一種奨学金		第二種奨学金
学校種	区分	自宅生	自宅外生	自宅生／自宅外生
大学	国公立	2万円～4.5万円	2万円～5.1万円	2万円～12万円
	私立	2万円～5.4万円	2万円～6.4万円	
短期大学	国公立	2万円～4.5万円	2万円～5.1万円	2万円～12万円
	私立	2万円～5.3万円	2万円～6万円	
高等専門学校 本科4・5年生 専攻科	国公立	2万円～4.5万円	2万円～5.1万円	2万円～12万円
	私立	2万円～5.3万円	2万円～6万円	
専門学校	国公立	2万円～4.5万円	2万円～5.1万円	2万円～12万円
	私立	2万円～5.3万円	2万円～6万円	

スケジュール

- 高校3年生の春頃に高校で申込みをします。
- 支援の対象として認められた人には10月下旬に通知が届きます。
進学先が未定でも奨学金の予約申込ができます。
※進学後の春頃に進学先の学校で申込みすることもできます。

大学等の支援制度



- 多くの大学等で授業料の納付猶予や延納等をおこなっています。
- 独自に授業料等減免や奨学金の制度を持っている大学等もあります。
- ✓ 詳しくは、進学を希望する大学に問い合わせるか、日本学生支援機構ホームページ「大学・地方公共団体が行う奨学金制度」で確認してみましょう。

<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/dantaiseido/index.html>



道内市町村の支援制度



- 独自に奨学金等の制度を持っている市町村もあります。
- ✓ 北海道庁のホームページ「大学等修学のための経済的支援情報サイト」
(<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/sm/gki/95213.html>)

に道内市町村の各種支援制度を掲載していますので、確認してみましょう。

The screenshot shows the official website of the Hokkaido Prefectural Government. The top navigation bar includes links for 'HOME', 'Department of Education', 'University and Higher Education Support Information Site', and 'Foreign Language'. The main content area is titled '大学等修学のための経済的支援情報サイト' (University and Higher Education Support Information Site). It features a sidebar with '国・高等教育の修学支援新制度' (New National System for Supporting University and Higher Education) and a main section with '道内市町村における大学等高等教育機関での修学等に係る各種支援制度' (Various support systems for university and higher education in the prefecture). The page also includes a '北海道総務部行政局学事課' (Hokkaido Prefectural Government Administration Bureau Academic Affairs Section) logo and a '2020年4月から新しい給付奨学金・授業料等減免制度がスタート!' (New grant scholarship and tuition fee reduction system starts in April 2020!) banner.

「大学等修学のための経済的支援の手引き」など、さまざまな情報を掲載しています。北海道庁のトップページから「経済的支援情報サイト」で検索してください。

